

株主のみなさまへ



第95回 事業ご報告

平成22年3月21日●平成23年3月20日

株式会社 安川電機

(証券コード：6506)

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 本年3月の東日本大震災により、被災されましたみなさまには心よりお見舞い申し上げます。
 当社グループの当期の業績につきまして、概要をご報告申し上げます。

当期における当社グループを取り巻く事業環境は、大幅な円高の影響はあったものの、中国をはじめとするアジアを中心とした堅調な外需及び主要な国内顧客の業績回復に牽引され、拡大基調で推移いたしました。

このような市場の伸びを捉え、当社グループでは業績拡大を図るべく、中期経営計画“Challenge 100”の成長戦略のもと、以下の施策を実行してまいりました。

- 成長市場である、中国をはじめとするアジア、新興国市場への販売加速
- 環境エネルギー事業の推進、拡大
- 徹底的なコストダウンの継続

上記の堅調な事業環境及び施策実行の成果もあって、受注面では、モーションコントロール及びロボットセグメントを中心に拡大し、売上高・損益とも前期から大きく拡大・改善し、売上高2,968億47百万円(前期比32.1%増)、営業利益128億74百万円(同198億51百万円増)、経常利益134億29百万円(同194億79百万円増)、当期純利益65億44百万円(同122億43百万円増)となりました。

当社グループでは、事業内容を5つのセグメントに分けております。

当期の各セグメント別の業績動向はつぎのとおりです。

セグメント別の業績

セグメントの名称	売上高(前期比)	営業損益(前期比)
モーションコントロール	1,564億50百万円 (49.3%増)	89億80百万円 (121億49百万円増)
ロボット	838億43百万円 (46.9%増)	16億73百万円 (100億1百万円増)
システムエンジニアリング	343億49百万円 (17.2%減)	20億61百万円 (34億15百万円減)
情報	141億32百万円 (9.1%減)	△3億98百万円 (5億36百万円の損失減)
その他	80億72百万円 (40.0%増)	5億42百万円 (6億16百万円増)

なお、当社個別業績につきましては、売上高1,837億67百万円(前期比52.8%増)、営業利益40億72百万円(同152億4百万円増)、経常利益66億40百万円(同141億1百万円増)、当期純利益34億40百万円(同83億88百万円増)となりました。

このような業績及び財務状況及び今後の事業展開等を勘案し、期末配当につきましては、1株につき4円とし、さきの1株につき2円の間配当とあわせ、年間で1株につき6円とさせていただきます。

今年度(平成23年度)は、中国をはじめとしたアジア、新興国の成長及び欧米の回復基調も持続するとみられ、濃淡はあるものの主に海外において、需要は拡大していくものと考えております。

一方で、東日本大震災の影響や、中東での政情不安による原油高騰等、不透明な要因もあります。

このような状況下、当社グループとしては、特に成長率の高い中国をはじめとしたアジア、新興国関連需要を確実に取り込み、収益の拡大を実現してまいります。

そして、平成24年度を最終年度とする中期経営計画“Challenge 100”の目標に向け、諸施策を加速、完遂してまいります。

具体的には、以下の施策を実行してまいります。

①既存事業の受注拡大

- 成長を続ける中国での当社グループの存在感を確立し、市場シェアの向上を図ります。
- 先進国では、新製品等の拡販による潜在的需要の開拓に努めます。
- 為替変動リスクに対応するため、需要地での生産等も進めてまいります。また、低コスト生産の推進を加速いたします。

②新規事業の収益貢献

新興国発展に伴い、地球規模で省エネルギー、新しいエネルギーの創出が喫緊の課題となっております。省エネルギーに寄与する新形インバータの一層の拡販、及び当期に市場投入した太陽光発電システムや風力発電システム等による、市場創出・事業拡大を加速いたします。

③開発力、生産力、販売力の継続的進化

開発力、生産力、販売力を質・量の両面から着実に日々進化させる仕組み作りと、これらを実現する実行力を

一層高めてまいります。

具体的には、全ての業務において、IT活用による「スピーディな経営情報の共有」及び「効率化」を推進するとともに、海外人材活用などで製品開発力を強化いたします。さらに、新興国ビジネスに対応できる人材育成を加速いたします。

これらの活動を通じて、さらに進化する体質を実現させることで、グローバル経済の中で持続的に成長し続ける当社グループを構築してまいります。

なお、当社グループも、東日本大震災による部品購入先の被災の影響がありますが、生産の維持・確保に経営資源を優先的・積極的に配分することにより、影響を最小限に止めるよう活動を実施いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



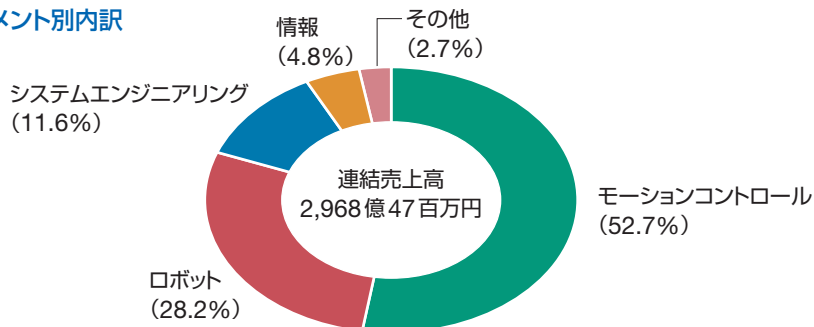
取締役社長

澤田 健吉

業績の推移

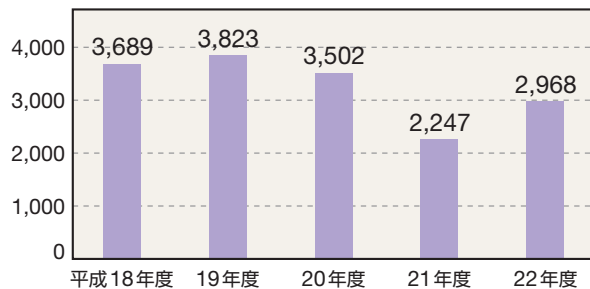
■ 連結売上高のセグメント別内訳

(平成22年度)



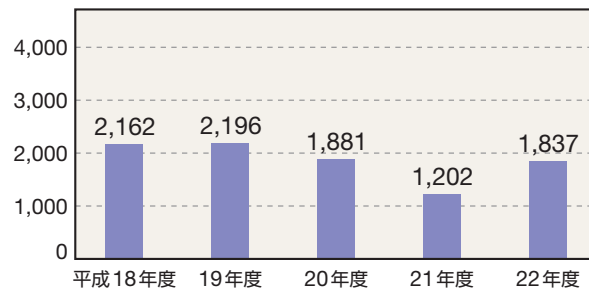
■ 売上高(連結)

単位: 億円



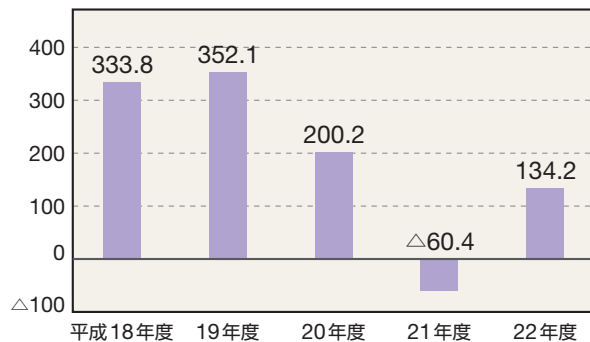
■ 売上高(個別)

単位: 億円



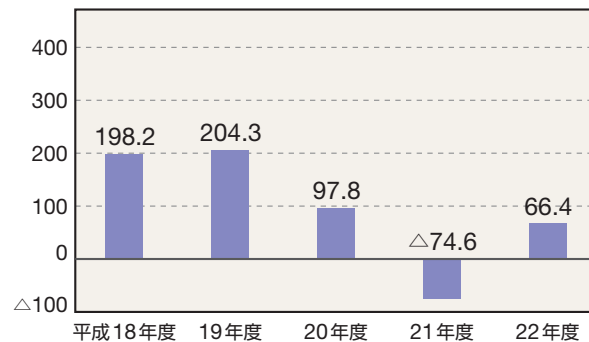
■ 経常利益(連結)

単位: 億円



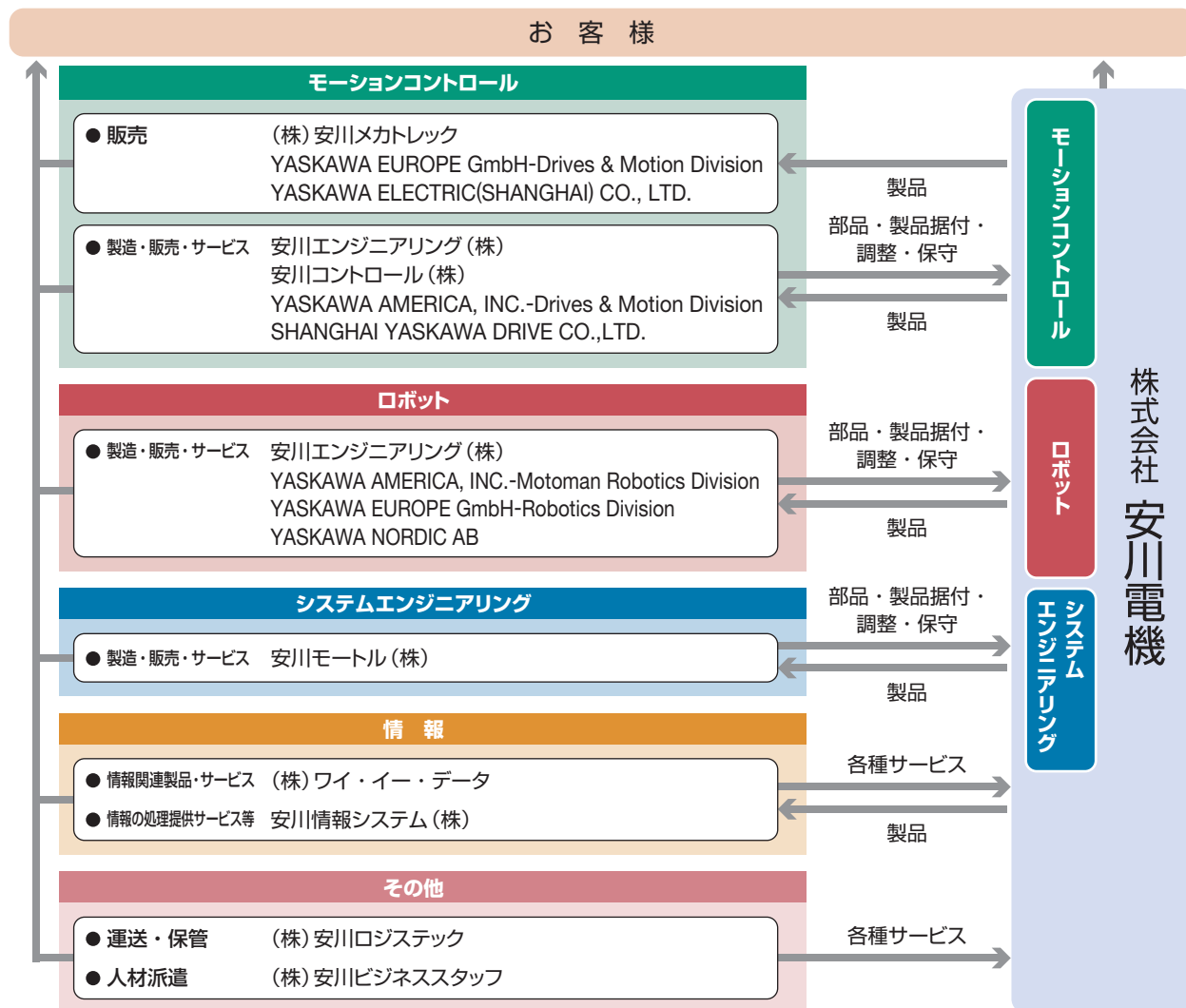
■ 経常利益(個別)

単位: 億円



当社グループの状況

当社グループは、当社を中核として子会社 75 社及び関連会社 20 社（平成 23 年 3 月 20 日現在）により構成され、「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」「その他」の各セグメントの様々な分野において、製造、販売、据付、保守、エンジニアリング等の事業展開を行っております。



(注) 上記の会社は全て連結子会社であり、主要な会社のみ表示しています。
株式会社 ワイ・イー・データ及び安川情報システム株式会社の2社は東京証券取引所第二部に上場しています。

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラは、顧客の設備投資回復に伴う需要拡大により、受注は高水準となりました。また、急速な受注の立ち上がりには追従すべく、生産体制の強化・効率化に注力し売上拡大に努めました。

インバータは、省エネルギー需要と、中国をはじめとするアジアを中心とした需要を取り込み、受注・売上とも、堅調な水準を持続いたしました。

これらの結果、売上高は大きく拡大し、営業損益も黒字転換し、利益が拡大いたしました。

主要製品

- ACサーボモータ・制御装置
- 汎用インバータ
- 工作機械用AC主軸モータ・制御装置
- リニアモータ・制御装置
- 高速モータ
- 小形精密モータ
- 複合モータ
- 高効率モータ・インバータ
- 高周波インバータ
- マトリクスコンバータ
- マシンコントローラ
- ビジョンシステム
- 太陽光発電用
パワーコンディショナ
- EV用モータドライブシステム
- その他



ロボット

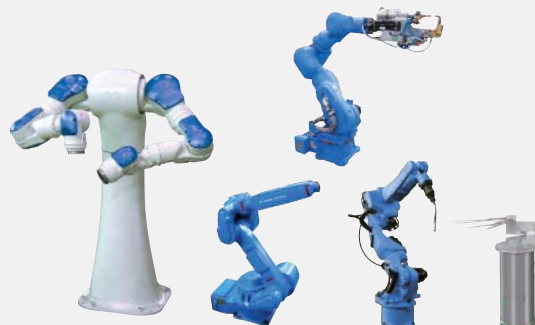
溶接・ハンドリングロボット等は、海外では自動車業界向け等を中心に拡販に努め、受注が拡大いたしました。国内では自動車業界向け需要は依然として低迷しておりますが、一般産業界向け受注獲得に注力いたしました。

また、液晶業界・半導体業界向けについても堅調な水準を持続いたしました。

この結果、売上高は拡大し、営業損益も黒字転換いたしました。

主要製品

- アーク溶接ロボット
- スポット溶接ロボット
- 塗装ロボット
- ハンドリングロボット
- 半導体・液晶製造装置用
クリーン・真空搬送ロボット
- ロボット周辺機器
- ロボット応用FAシステム
- サービスロボット
- その他



システムエンジニアリング

鉄鋼業界向けが需要の端境期にあり、売上高は前期比で減少いたしました。損益面では、原価低減と採算管理の徹底により黒字を確保いたしました。

主要製品

- 鉄鋼プラント用電機システム
- 上下水道用電気計装システム
- 道路設備電源システム
- 港湾荷役用クレーン制御システム
- 紙・フィルム・繊維製造装置・印刷機械用可変速ドライブシステム
- システム情報制御機器
- 中大容量高圧インバータ
- 中大容量高圧マトリクスコンバータ
- 高圧開閉装置
- コントロールセンタ
- システム用制御盤
- 電力用配電機器
- 永久磁石内蔵形回転機
- 中大形誘導電動機
- 中形発電機及び発電装置
- その他産業用回転機
- 大形風力発電機
- 大形風力発電用コンバータ
- 小形風力・太陽光発電システム
- 省エネルギー関連システム
- その他



情報・その他

情報セグメントは、顧客の情報関連投資が抑制されており、売上高は前期比で微減となりました。損益面では、徹底した原価低減により損失が減少いたしました。

その他セグメントには、物流サービス、人材派遣等の事業が含まれております。

主要製品

情報

- 情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 情報処理ソフト及びサービス
- OA機器
- その他

その他

- 物流サービス
- 人材派遣
- その他



プラスαの付加価値をご提案

車載電池用急速充電器

Enewell-CEV

電気自動車 (EV) 等の車載電池用急速充電器 Enewell-CEV (エネウェル-セヴ: Charger Electric Vehicle) の販売を開始いたしました。電源とスタンドが分離しているため、スタンド設置場所の省スペース化が図れます。また、スタンドを増設することで、同時に2台までの中速充電(最大合計50kW)も可能です。

操作スイッチと操作説明が一体化されているため、初めての方でも簡単にご利用いただけるほか、充電待ち時間にスタンドのフリーパネルで広告などのサービスを楽しんでいただけるなど、プラスαの付加価値もご提供できます。

主な用途

- ガソリンスタンド・高速道路・各種店舗・観光施設・駐車場等における充電器



EVコミュタから軽自動車クラスEV向け

小形EV用モータドライブシステム

YMEV

EVコミュタから軽自動車クラスEVに最適な小容量のモータドライブシステムYMEV(ワイメブ: Yaskawa Motordrive for Electric Vehicle) の販売を開始いたしました。

当社独自のIPM*モータ及び高効率制御技術によって、特に低速域での高効率化を実現しました。今後も大きな成長が期待されるEV・HEV(ハイブリッド電気自動車)用電気駆動システム市場での多様なニーズにお応えてまいります。

主な用途

- 軽自動車クラスEV
(業務用EV軽自動車・乗用EV軽自動車)



* : Interior Permanent Magnet (永久磁石内蔵形)

油・水滴・ほこり等の悪環境に対応

エンコーダレス位置決め C1000ドライブ

エンコーダレスでも位置決め制御が可能な、C1000アンプと当社IPMモータEMT2シリーズのセット商品C1000ドライブを開発し、販売を開始いたしました。

精密機器であるエンコーダを不要にしたことで、油・水滴・ほこり・衝撃等が発生する悪環境下でもエンコーダを起因とした故障がなく、機械・装置の信頼性を大幅に向上します。

主に搬送機械分野の用途へ拡販してまいります。

主な用途

- ATC (オートツールチェンジャー) ・ エア搬送等の周辺機器
- 油圧シリンダ (風力発電機の羽ピッチコントロール用)
- 取り出し・搬送ロボット
- ターンテーブル (工作機、立体駐車場)



小さな製品・部品の塗装に最適な省スペースロボット

塗装用途最適化ロボット

MOTOMAN-EPX1250

携帯電話やパソコン等の小さな製品・部品の塗装用途に向けて、MOTOMAN-EPX1250をラインアップしました。

小形・軽量なので塗装ブース内の最適位置に設置できるほか、クラス最大の動作範囲により一度に多くのワークを塗装できるため、生産性向上にも貢献します。また、高性能塗装ガンであるベルガン*を装着することで、塗装面の高品質化や塗料使用量の低減も可能です。今後も、塗装用途のシェア拡大を積極的に進めてまいります。

主な用途

- 携帯電話やパソコン等の家電製品・部品の塗装
- 自動車のダッシュボードやランプのリフレクタなどの下処理塗装



* : ガンの先端部に高速回転する塗料の霧化機構を持つ。霧化粒子の均一化性能が高く、塗膜の均一化が容易で、重ね塗りを減らすことが可能だが、高速回転機構によりガン自体の質量は大きくなる。

世界最小サイズで、新たな価値をご提供

スーパー省エネ高圧インバータ

FSDrive-MV1000

高圧ドライブの国内・海外市場における競争力を強化するため、当社直列多重高圧インバータ*1と低圧インバータの両方の特長を融合するという新しい発想から生まれた、FSDrive-MV1000を製品化したしました。

シンプルな主回路構成によって世界最小サイズ*2を実現し、安定した継続運転、業界最高水準の省エネ効果等、多くの特長を持っています。2.4kV～11kVの入出力電圧範囲に対応した機種（一部開発中）をラインアップし、グローバルシェアアップを目指してまいります。

主な用途

- ファン・ブロウ・ポンプ等の風水力応用機械
- 押出機

*1：トランスによって絶縁された単相インバータ（セル）を直列に接続して高圧化したインバータ

*2：3, 4, 6kVクラス最小サイズ（当社調査による）



- バンバリミキサ等の定トルク用途
- コンプレッサ等専用機械

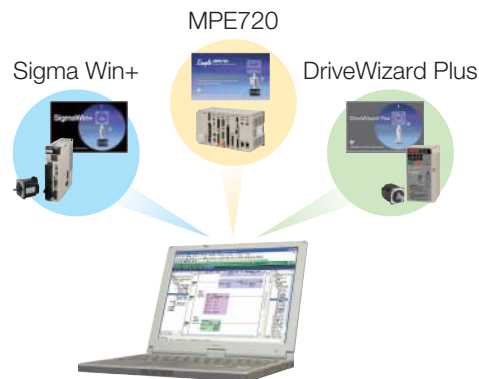
装置のドライブシステムを一括管理

統合エンジニアリングツール

MPE720 Ver.6.3

マシンコントローラMP2000シリーズをより使いやすくご利用いただくため、統合エンジニアリングツールMPE720 Ver.6.3をリリースいたしました。サーボ・インバータ調整ツールを一つのパッケージにすることにより、ドライブシステムすべてをパソコンで一括管理でき、作業効率が飛躍的に向上します。

このツールをお客様にPRすることで、MP2000シリーズの更なる拡販を目指してまいります。



トピックス

世界初! SiC (シリコンカーバイド) 採用

電気自動車用高効率モータドライブ

SiC-QMETを開発

SiC-QMET (クメット) は、当社のドライブ技術とローム株式会社のデバイス技術を融合させた、新しいコンセプトのEV用モータドライブです。

このモータドライブは、当社独自の電子式巻線切替技術を搭載したQMETドライブをベースとし、SiCを採用することで、冷却構造の簡素化、小形化及び高効率化を実現しています。

近年のエコカーの需要拡大に伴い、EVの製品化が加速するなか、当社とローム株式会社は、更なる小形化・高効率化を目指し、SiCの共同開発を進めてまいります。



トピックス

MOTOMAN Motherson Robotics Limitedの完全子会社化について

インド共和国におけるロボット市場の急速な発展に柔軟かつ迅速に対応し、経営の意思決定をスピーディに行うため、MOTOMAN Motherson Robotics Limited (設立：平成16年12月)を完全子会社化いたしました。

また、インド共和国市場におけるブランド力強化を目的として、当社統一コーポレートブランドである「YASKAWA」を反映したYASKAWA Robotics India Limitedに社名変更いたしました。

平成22年8月に設立したインド安川電機(YASKAWA Electric India Private Limited)と連携し、インド共和国における安川グループの競争力を強化してまいります。

YASKAWA Robotics India Limitedの概要

会社名：YASKAWA Robotics India Limited

事業内容：産業用ロボットの販売・サービス及び
産業用ロボットを用いたオートメーション
ソリューションの提供

資本金：1000万インドルピー

出資比率：安川電機100%

従業員：52名(平成23年3月現在)

トピックス

アジア初! ACサーボドライブ Σ -Vシリーズ セーフティモジュールが機能安全認証を取得

Σ -Vシリーズのセーフティモジュール（セーフティ機能を備えたオプションモジュール）がアジア初の機能安全認証を取得いたしました。本認証は、第三者試験認証機関であるTÜV SÜD Japan（ドイツに本拠を置くテュフズードグループの日本法人）が審査するもので、製品の機能・品質の高さに加え、ソフトウェアの信頼性を証明するため、開発プロセスの規定や開発管理体制までが審査対象となる規格です。今後も国際標準の高品質な製品開発を続け、 Σ -Vシリーズの更なる拡販を目指してまいります。



トピックス

みんなの最先端ロボット やすかわくん

当社は創立100周年に向けた2015年ビジョンにおいて「ロボティクス ヒューマンアシスト」をコア事業領域の一つに掲げ、SmartPal（スマートパル）をはじめとする次世代サービスロボットの開発を進めてまいりました。

やすかわくんは当社産業用ロボットMOTOMANシリーズをサービス（非製造業）ビジネスに展開した新たな取り組みの一つです。

第一弾として、ソフトクリームを販売するロボット一坪店舗「やすかわくんのソフトクリーム屋さん」を開発しました。東京サマーランドや苗場プリンスホテルでの実演は行列ができるほどの人気で、当社の知名度アップにも貢献しています。

今後も様々な用途に取り組み、サービスロボット市場開拓を加速してまいります。



「やすかわくん」ホームページ

<http://pr.yaskawa.co.jp/yaskawakun/index.html>

安川情報システム株式会社

「電気自動車の安心走行と普及支援に関するITシステムの共同開発・実証」の実施

北九州市が推進する環境モデル都市行動計画（グリーンフロンティアプラン）の一環として、当社は日産自動車株式会社様及び株式会社ゼンリン様と共同で、環境省「地球温暖化対策技術開発等事業」の委託を受けて、電気自動車（EV）の安心走行と普及支援に関するIT技術開発を行っています。

このITシステムは、走行中のEVドライバーに近隣の使用可能な充電器と電力消費の最小なルートをナビ表示するとともに、EV車充電用の専用駐車スペースを確保するためのITシステムを開発・実証するものです。EVの普及とともに、EVの安心走行や利便性の向上を支えるITシステムやサービスの役割がますます重要になってくると考えています。

株式会社 ワイ・イー・データ

高精度スプレーコータの新機種を発売

同社子会社の（株）ワイディー・メカトロソリューションズでは、微小流量を高精度に制御できる独自の液制御方式を採用した、高精度スプレーコータを製造・販売しております。

この度、需要が拡大しているタッチパネル製造ラインでの薄膜処理に最適新機種を開発し、発売いたしました。

本機種では、最新の技術で薬液消費を抑制、ランニングコストや環境負荷も低減しており、タッチパネル製造メーカーの生産性・品質向上の期待に応えるものとなっています。

今後はスプレーコータの新たな市場として、電子ペーパー、有機EL、太陽電池、燃料電池等の市場開拓を図ってまいります。



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表(平成23年3月20日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	188,148	流動負債	126,758
現金及び預金	12,032	支払手形及び買掛金	63,235
受取手形及び売掛金	93,073	短期借入金	33,697
たな卸資産	58,066	未払費用	17,691
繰延税金資産	7,378	未払法人税等	3,257
その他流動資産	19,289	役員賞与引当金	56
貸倒引当金	△1,691	その他流動負債	8,819
固定資産	76,446	固定負債	39,807
有形固定資産	35,729	長期借入金	7,742
建物及び構築物	15,833	退職給付引当金	30,662
機械装置及び運搬具	8,331	役員退職慰労引当金	293
土地	7,952	その他固定負債	1,109
その他有形固定資産	3,611	負債合計	166,565
無形固定資産	5,849	純資産の部	
ソフトウェア	4,162	株主資本	98,600
その他無形固定資産	1,687	資本金	23,062
投資その他の資産	34,867	資本剰余金	18,682
投資有価証券	16,773	利益剰余金	57,281
長期貸付金	194	自己株式	△425
繰延税金資産	14,500	評価・換算差額等	△5,380
その他投資	3,908	その他有価証券評価差額金	1,731
貸倒引当金	△509	為替換算調整勘定	△7,111
		少数株主持分	4,808
		純資産合計	98,029
資産合計	264,594	負債・純資産合計	264,594

連結損益計算書

(単位:百万円)

自平成22年3月21日 至平成23年3月20日	
売上高	296,847
売上原価	219,815
売上総利益	77,032
販売費及び一般管理費	64,157
営業利益	12,874
営業外収益	1,735
受取利息及び配当金	344
持分法による投資利益	442
雑収入	949
営業外費用	1,180
支払利息	647
為替差損	232
雑支出	301
経常利益	13,429
特別利益	118
固定資産売却益	46
投資有価証券売却益	39
その他特別利益	32
特別損失	1,488
固定資産除売却損	82
投資有価証券評価損	1,084
減損損失	14
その他特別損失	306
税金等調整前当期純利益	12,060
法人税、住民税及び事業税	4,374
法人税等調整額	1,131
少数株主利益	11
当期純利益	6,544

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

自平成22年3月21日 至平成23年3月20日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△786
現金及び現金同等物に係る換算差額	△298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,337
現金及び現金同等物の期首残高	16,296
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	926
現金及び現金同等物の期末残高	11,885

資産、負債及び純資産の状況

当期末における資産合計は、2,645億94百万円(前期末比229億45百万円増)となりました。これは、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産等の増加等により、流動資産が前期末比261億11百万円増加したこと、及び固定資産が前期末比31億66百万円減少したことによるものです。

負債合計は、1,665億65百万円(同182億5百万円増)となりました。これは、支払手形及び買掛金等の増加等に

より、流動負債が前期末比215億5百万円増加したこと、及び長期借入金の減少等により、固定負債が前期末比33億円減少したことによるものです。

純資産合計は、980億29百万円(同47億40百万円増)となりました。これは、主に利益剰余金の増加等により、株主資本が前期末比57億29百万円増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物の残高は、118億85百万円(前期末比44億10百万円減)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、24億89百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益120億60百万円、減価償却費70億57百万円、売上債権の増加195億49百万円、たな卸資産の増加134億25百万円、仕入債務の増加138億69百万円等です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、67億41百万円の支出となりました。主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出62億66百万円等です。

この結果、営業活動と投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、42億52百万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、7億86百万円の支出となりました。主な内訳は、短期借入金の増加29億91百万円、長期借入れによる収入10億50百万円、長期借入金の返済による支出39億22百万円、及び配当金の支払額8億81百万円等です。

個別財務諸表(要約)

貸借対照表 (平成23年3月20日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	102,854	流動負債	74,279
現金及び預金	4,740	支払手形	4,404
受取手形	3,978	買掛金	40,664
売掛金	50,244	短期借入金	8,188
製品	10,924	未払金	1,395
半製品	857	未払費用	10,251
原材料	5,323	前受金	717
仕掛品	4,791	預り金	8,567
前渡金	72	その他流動負債	90
繰延税金資産	3,714	固定負債	29,064
未収金	1,218	長期借入金	6,404
未収法人税等	6	退職給付引当金	22,368
短期貸付金	3,486	その他固定負債	290
その他流動資産	15,042	負債合計	103,343
貸倒引当金	△1,546	純資産の部	
固定資産	69,715	株主資本	67,504
有形固定資産	21,112	資本金	23,062
建物	9,403	資本剰余金	18,493
構築物	545	資本準備金	18,491
機械装置	4,860	その他資本剰余金	2
車輜運搬具	16	利益剰余金	26,247
工具	614	その他利益剰余金	26,247
器具及び備品	336	繰越利益剰余金	26,247
土地	4,756	自己株式	△298
建設仮勘定	579	評価・換算差額等	1,722
無形固定資産	4,986	その他有価証券評価差額金	1,722
施設利用権	1		
ソフトウェア	3,849		
その他無形固定資産	1,135		
投資その他の資産	43,616		
投資有価証券	10,049		
関係会社株式	16,647		
出資金	1		
関係会社出資金	3,631		
長期貸付金	327		
繰延税金資産	11,738		
その他投資	1,547		
貸倒引当金	△327	純資産合計	69,226
資産合計	172,570	負債・純資産合計	172,570

損益計算書

(単位：百万円)

自平成22年3月21日 至平成23年3月20日	
売上高	183,767
売上原価	146,740
売上総利益	37,027
販売費及び一般管理費	32,954
営業利益	4,072
営業外収益	3,364
受取利息及び配当金	3,065
雑収入	299
営業外費用	796
支払利息	242
債権売却損	97
為替差損	381
雑支出	74
経常利益	6,640
特別利益	53
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	39
貸倒引当金戻入益	13
特別損失	1,159
固定資産除売却損	46
投資有価証券評価損	1,002
関係会社株式評価損	2
その他特別損失	107
税引前当期純利益	5,534
法人税、住民税及び事業税	224
法人税等調整額	1,869
当期純利益	3,440

第95期(自平成22年3月21日 至平成23年3月20日) 配当について

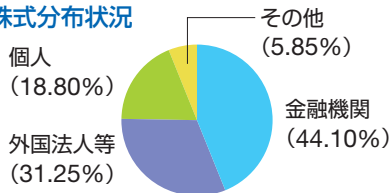
中間配当	1株につき	2円
期末配当	1株につき	4円
年間	1株につき	6円

発行可能株式総数…………… 560,000 千株
 発行済株式の総数…………… 252,331 千株
 資本金…………… 230億62百万円
 株主数…………… 20,912 名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,227 千株	5.65%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,285 千株	4.08%
株式会社みずほコーポレート銀行	9,473 千株	3.76%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.16%
明治安田生命保険相互会社	7,774 千株	3.09%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.53%
サ ジ ヤ ツ ブ	6,308 千株	2.50%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.69%
全国共済農業協同組合連合会	4,150 千株	1.65%
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,680 千株	1.46%

(注) 持株比率は、自己株式を控除して算定しております。

■ 所有者別株式分布状況



■ 当社株価の推移



(注) 東京証券取引所における月別の高値、安値を表示しています。

平成23年3月29日から、当社株式は日経平均株価算定用銘柄に採用されています。

取締役会長	利島康司
取締役社長	津田純嗣
専務取締役	鬼頭正雄
常務取締役	沢俊裕
常務取締役	宇佐見昇
常務取締役	中村公規
取締役	深堀慶憲
取締役	後藤英樹
取締役	小笠原浩
取締役	本松修
取締役	村上周二
取締役	南善勝
取締役	柳瀬重人
取締役	中山裕二
取締役	高宮浩一
常任監査役(常勤)	岩田定廣
監査役(常勤)	市川学
監査役	三井康誠
監査役	石丸誠

商 号 株式会社 安川電機

英文社名 YASKAWA Electric Corporation

設 立 大正4年7月16日

従 業 員 8,085名(連結) 2,798名(個別)

事 業 所 本 社	〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号	電話 (093) 645-8801
東 京 支 社	〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 ニューピア竹芝サウスタワー	電話 (03) 5402-4502
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 堀内ビル	電話 (052) 581-2761
大 阪 支 店	〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 新藤田ビル	電話 (06) 6346-4500
九 州 支 店	〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 第7明星ビル	電話 (092) 714-5331
工 場 等	八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所・入間事業所・小倉事業所	

主要関連会社

JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ
情報関連製品・サービス
(オプトメカトロニクス・情報セキュリティ・情報マルチメディア)
- 安川情報システム株式会社
情報の処理提供サービス・ソフトウェア開発並びにシステム機器販売
- 安川コントロール株式会社
電気機械器具及びその部品の製造・販売
- 安川エンジニアリング株式会社
電気機械設備の保全・整備・試運転調整及び技術指導
- 株式会社 安川ロジステック
総合物流事業
- 安川モートル株式会社
電動機、発電機及び電動機応用製品の設計・製造・販売・保全・整備及び調整

EUROPE

- YASKAWA EUROPE GmbH (ドイツ)
インバータ・サーボ・コントローラの販売
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA NORDIC AB (スウェーデン)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA EUROPE TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)
サーボ・コントローラの開発・製造・販売・サービス、ロボットの販売・サービス

ASIA

- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD. (中国)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売
- SG-MOTOMAN ROBOTIC CO., LTD. (中国)
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SHENYANG) CO., LTD. (中国)
サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)
インバータ・サーボ・コントローラ・ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス、ロボットのサービス
- YASKAWA Robotics India Limited (インド)
ロボットの販売・サービス

AMERICA

- YASKAWA AMERICA, INC. (アメリカ)
インバータ・サーボ・コントローラの製造・販売・サービス
ロボットの販売・サービス
- YASKAWA MOTOMAN CANADA, LTD. (カナダ)
インバータ・サーボ・コントローラのサービス、ロボットの販売・サービス
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL LTDA. (ブラジル)
インバータ・サーボ・コントローラの販売・サービス

事業年度	毎年3月21日から 翌年3月20日まで	公告掲載新聞	日本経済新聞
定時株主総会	6月	上場金融商品取引所	東京・福岡
(配当金受領)	毎年3月20日(期末配当金)	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
(株主確定日)	毎年9月20日(中間配当金)		

お知らせ 郵便物送付先・電話お問い合わせ先等に関しましては、下記のとおりとなります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払については、右の「特別口座の場合」のお取扱店、並びに株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店にてお取扱いいたします。支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の電話お問い合わせ先までご連絡ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の規定により、株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、平成24年の確定申告の添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算はお取引の証券会社等にて行われますので、平成24年の確定申告の添付資料としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。

<http://www.yaskawa.co.jp/>



株式会社 安川電機